

幼児・児童に楽しいトイレの環境を与える

Flush negative experience! “positive” Toilets for Children

藤原 小夏

指導教員 氏家 和彦

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 生活文化マネジメント研究室

キーワード：トイレ環境・幼児・児童・家庭・学校

概要

「うんちって、当たり前だけど大切なこと。」をテーマに、トイレの環境を楽しく快適にする知育要素を加えた様々なデザインを提案する。

研究目的

本研究は、トイレに対して羞恥心や苦手意識を抱えている子ども達や、それらの心因的理由に起因する便秘に悩んでいる子ども達とその親を対象とする。デザインの力で子ども達の興味や関心を高め、トイレの時間をポジティブなイメージに改善し、且つトイレに関する正しい知識の習得を促すものである。

調査内容

トイレ環境を調査し、以下の項目が重要であることが判明した。

1.便秘

便秘とは、便が硬くて出にくい状態のことである。そして身体的理由に起因する器質性便秘と心因的理由に起因する機能性便秘に分けられる。本研究では主に機能性便秘を扱う。

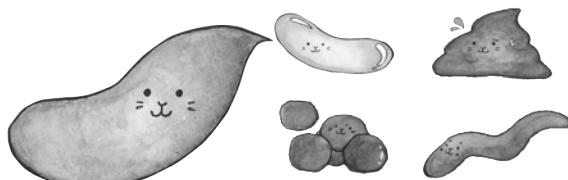
2.便の種類

理想とされるうんちの特徴として、

- いきまずに出て、バナナ状でやわらかい。
- 色は黄色～黄土色で水に浮く。
- 出た後にすっきりした感覚がある。

といった項目が挙げられる。

その他、水分不足でかちかちになった便や、消化器官の不調による細い便、水分のコントロールが上手くいかない軟便、下痢などの種類がある。



1. 理想のうんちイラスト

2. その他うんちイラスト

3. 便秘が併発する症状

不眠や体臭・イライラ・肌荒れ・痔など便秘は年齢関係なく様々な症状を併発する。

これをうけて、2013年9月、日本トイレ研究所が子どもの便秘重症化を防ぐ為の治療ガイドラインを発表した。

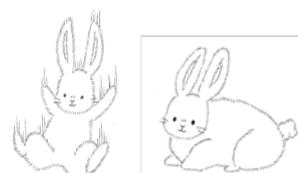
コンセプトおよびアイディア展開

コンセプト

「ポジティブなトイレの習慣を楽しく身につける」

うんちくうさちゃん

本研究は、私が昨年度に提案した作品「うんちくうさちゃん」(トイレットペーパー)からスタートしている。うんちくうさちゃんは、食糞の性質があるうさぎをモチーフにしたキャラクター。トイレに関するうんちくを楽しく分かりやすく教えてくれる。



3. うんちくうさちゃんのイラスト

アイディア展開

トイレグッズやトイレトレーニング用のグッズ、絵本や紙おむつメーカーを調査した結果、トイレに行く前の段階のケアやしつけ関連商品は十分に展開されていることが分かった。一方、トイレに入り、用を足して個室を出るまでの間に機能する商品が極めて少ないことも判明した。

トイレへの導入段階のしつけグッズが多数存在するにもかかわらず、多くの子ども達が排便に対してマイナスイメージを抱き、便秘が深刻化している現状を合わせて考えたとき、前向きな排便習慣を身につけるには排便中や排便直後にケアをすべきではないか。という考えに至った。

現段階での最終提案

現段階では以下の制作物を検討、制作中である。

1. トイレットペーパー

うんちくうさちゃんのイラストで1回の平均使用量を分かりやすく表現したり、便器に座っている間の不安感を軽減させるイラストをプリント予定。パッケージもトイレのインテリアグッズとして楽しめるかわいいデザインを施す。

2. うんちチェック表

トイレを済ませて直ぐに使えるチェック表。様々なうんちのイラストで、その都度どんなうんちが出たか分かりやすく確認できる。このチェック表を介して、子どもは親に結果を報告することで達成感を得られ、親は子どもの健康状態を知ることが出来るコミュニケーションツールにもなる。

3. カレンダー

カラフルでかわいいうんちくうさちゃんの健康うんちくカレンダー。基本的なカレンダーの機能に加え、メモ欄を設けるなどして排便記録や家族の健康状態を把握できるように制作する。

今後の展開

制作物を完成させ、姉妹校のサレジオ幼稚園をはじめ、他のこども園や小学校に協力を得て検証を実施。その後、改善点の修正を加え、協力校に再提案を行う予定である。

参考文献

- ・ うんち教室(王子ネピア×日本トイレ研究所)
- ・ <http://www.nepia.co.jp/crs/unchi-kyoushitsu/>
- ・ たけい小児科
<http://www.takei-c.com/diary/cn12/pg422.html>
- ・ 読売新聞オンライン yomi Dr.
<https://yomidr.yomiuri.co.jp>
- ・ 日本トイレ研究所
<https://www.toilet.or.jp>